



テレワーク普及推進に係る現状報告

令和7年6月20日（金）



「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）とは

- 2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向け、2022年10月に発足した国民のみなさまの**行動変容・ライフスタイル転換**を強力に後押しするための国民運動です。
- 脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介するとともに、**国・自治体・企業・団体等が連携**し、国民のみなさまの新しい暮らしを後押しします。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO₂削減が求められます。



しかし、国民のみなさまの行動に具体的に結びついていない状況です。



①2030年代にかけ、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿**をお示します。



②国・自治体・企業・団体等で共に、**国民のみなさまの新しい暮らしを後押し**します。



国際的（G7・G20等）にも

- ・日本から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイル**の提案・発信
- ・官民連携による**ライフスタイル・イノベーション**の国際協調を提案・発信



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出を促します。

国民運動の愛称「デコ活」



○2023年7月に愛称が「デコ活」に決定し、同年8月、ロゴマーク、メッセージ、アクション等も決定しました。



愛称

国民に広く公募し（8,200件の応募）、愛称公募選定会議で「**デコ活**」※に決定（生みの親↑）
※二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

◆ ロゴ・メッセージ・アクション



◆ “くらしの10年ロードマップ”を策定
進捗フォローアップを行い計画的に実行

デコ活アクション まずはここから

- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

デコ活の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する「新しい豊かな暮らし」を提案をしています。



- 住[外]** 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電 等)
- 住[内]** エコグッズの選択 (LED、家電、給湯器、節水機器、HEMS 等)
- 衣** クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践
- 買・食** 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- 職** テレワークの実践
- 移** 電動車の購入
環境負荷がより少ない移動手段の選択
- 基盤** 情報 (教育・ナッジ) インセンティブ

「デコ活アクション」について



- 具体的な取組の事例として、3分野、計13種類の「デコ活アクション」を決定しました。
- 以下の事例に限らず、暮らしが豊かになり、脱炭素などに貢献していくものは、すべて「デコ活アクション」です。

分類			アクション
まずはここから	住	デ	電気も省エネ 断熱住宅 （電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
	住	コ	こだわる楽しさ エコグッズ （LED・省エネ家電などを選ぶ）
	食	カ	感謝の心 食べ残しゼロ （食品の食べ切り、食材の使い切り）
	職	ツ	つながるオフィス テレワーク （どこでもつながれば、そこが仕事場に）
ひとりでのCO2が下がる	住		高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ
	移		環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住		太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣		クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住		ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食		地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移		できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買		はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住		宅配便は一度で受け取る

「くらしの10年ロードマップ」(概要)

○初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋**（課題と仕掛け）を**全領域**（衣食住・職・移動・買物）で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進します。

国民にとってのボトルネック

意欲

導入メリット・意義が不明
昔のイメージのまま敬遠
手間・難しさの忌避感
問題への理解・関心不足

実践

初期費用・大規模支出
導入に時間がかかる
機会・情報が限定・不十分
慣習・制度が実践を妨ぐ

課題解消に向けた仕掛け（主な対策）

2024~2026

2027~2029

2030~

メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達（商業・公共施設等を体験・体感の場に）

新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化

住

商品・ブランド別のエシカル度の見える化

衣

サステナブルツアー（出張・旅行 等）、カーボンオフセット付き旅行保険等

移

科学的情報等を行動とセットで提供（DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け）

基盤

サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大

公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大

住

通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案

住

リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大

衣

フードシェアリング、フードドライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大

買・食

テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供

職

データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大

基盤

費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供

基盤

行動制約

行動変容・ライフスタイル転換

「くらしの10年ロードマップ」の取組実践状況に関する消費者アンケート調査（第2回）

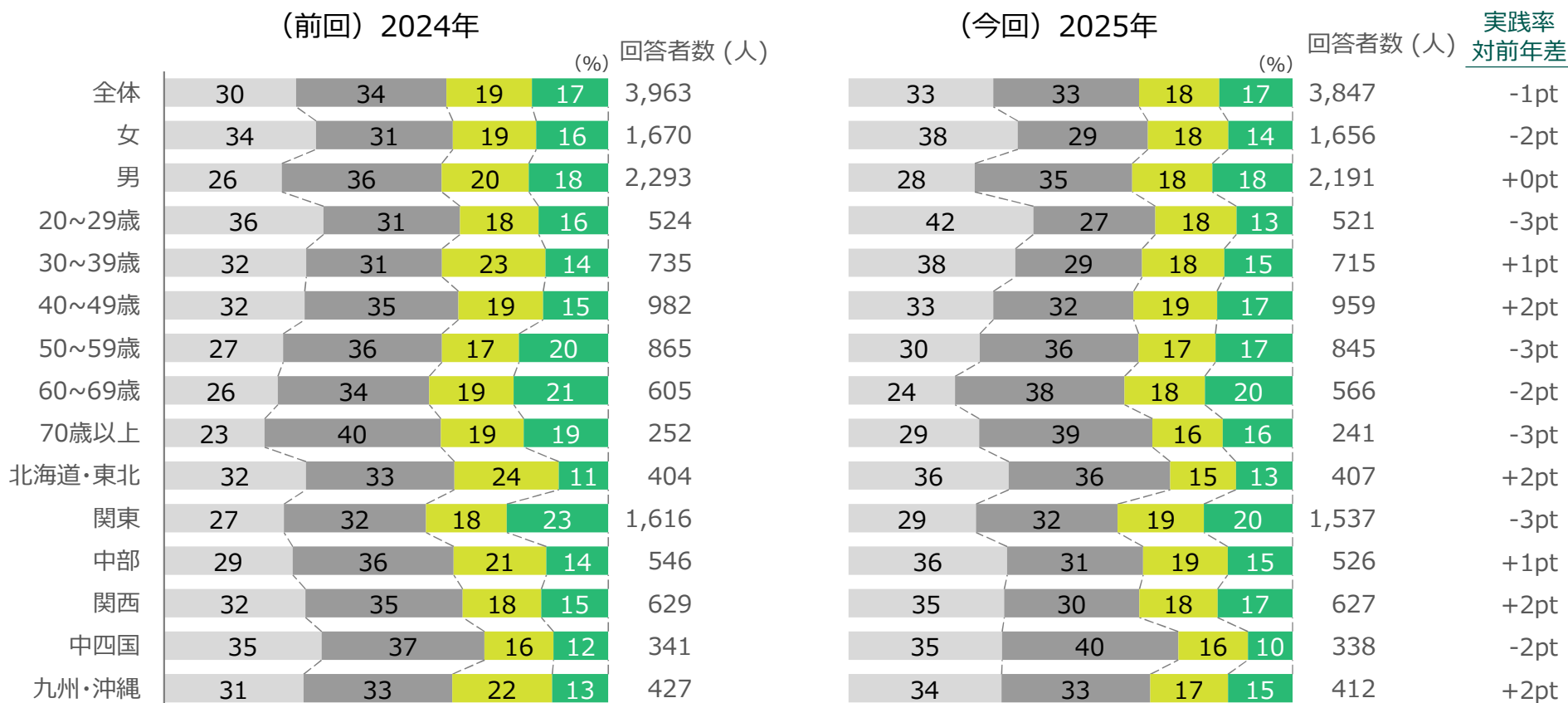
【⑤職 テレワーク】

■ 設問：あなたの職場での、以下に挙げる環境に対する取組の実践状況について、それぞれお答えください。（有職者のみ）

■ 非認知（具体的なやり方を知らない） ■ 認知（やり方は知っているが、実践したいと思わない） ■ 意欲（実践したいと思っているが、具体的な行動は起こしていない） ■ 実践（既に実践している）

テレワーク

自宅での在宅勤務、コワーキングスペースやカフェ等オフィス以外で仕事をするテレワーク（リモートワーク）の実践



- ・ 昨年からは目立った変化はみられず、テレワークの実践率は全体で2割弱。
- ・ 関東地方は他地域に比べ実践率が高い地域だが、昨年からはやや減少している。

調査手法：インターネット調査
調査対象：地域・年代別に人口動態に即して割り付けた全国の成人6,500人
調査期間：2025年1月10日(金)から14日(火)

デコ活 Positive Action Initiative

- 官民が連携し、消費者の脱炭素につながるアクションの見える化を目指す
- 2025年2月に、消費者の脱炭素アクションのCO2削減効果のデータベースを発表

目的

生活の様々な場面で行った脱炭素に繋がるアクションを
見える化し、インセンティブを提供することを目指す

官民連携で取り組む

"Positive Action Initiative"とは

- 消費者の"脱炭素"のための活動をより身近にすることを目指し、多数の企業・団体が参画

“あなたの脱炭素貢献が見えるように”
“あなたの脱炭素貢献を新しい価値に”



デコ活データベース

脱炭素に資するアクションのCO2削減効果のデータベースを作成

- ・ 今後は、デコ活データベースを活用したサービスの社会実装を目指す

エアコンの使用時間を減らす



1 時間あたり0.36kgのCO2削減

食べ残しをしない



1 食あたり0.01kgのCO2削減

リユース品の衣類をオンライン (EC、フリマアプリ等)で購入する



1 着あたり9.5kgのCO2削減

在宅勤務を実施する



1 日あたり1.8kgのCO2削減

※デコ活データベース (Ver.1.1) を使用

新宿御苑コワーキングスペース



■ 新宿御苑で、2024年10月1日（火）よりコワーキングスペースの運営を開始



会議室 30分単位で予約可能:1,500円/30min
6時間以上の利用は18,000円が上限

営業時間 Business Hours

10/1 → 3/14 9:30 — 16:00

3/15 → 9/30 9:30 — 17:30

7/1 → 8/20 9:30 — 18:30

作業室 30分単位で予約可能:400円/30min
5時間以上の利用は4,000円が上限



新宿御苑
コワーキングスペース
Shinjuku Gyoen Coworking Space



館内には作業室と会議室を備え、定員は作業室が21名、会議室が12名です。作業室の各席にはコンセントがあり、作業室、会議室いつでもWi-Fiが使用できます。また、会議室においてはプロジェクター、スクリーン及びホワイトボードの無料貸出を実施しています。窓からは日本庭園の美しい緑を臨むことができ、新宿御苑コワーキングスペースの特色となっています。

●公式ホームページ：<https://www.shinjukugcs.jp/>